

H29. 5. 23 東淀川区区政会議 第1回魅力あるまちをつくろう！部会 学習会 議事概要

※枠内は委員・議員意見、枠外は区役所職員

日時場所 平成 29 年 5 月 23 日(火)午後 7 時から午後 9 時。東淀川区役所 3 階 304 会議室

出席者 魅力あるまちをつくろう！部会委員 6 名、他部会委員 1 名、府議會議員 1 名

議題 1：新たな将来ビジョン・平成30年度運営方針に向けて

- ・将来ビジョンは、区役所が今後 5 年間に実施する、区長の所管する事業（区役所が出来る範囲のこと）の施策展開の方向性を示すもの。
- ・区政会議でも議論していただきたい。6月部会で素案、9月部会で案について取り上げる。

議題 2：魅力発信の取り組みについて報告（区役所）

●大阪経済大学との連携

- ・学生が多い特徴を活かせないかという部会の意見から、平成28年度より大阪経済大学と連携して地域の魅力発掘事業実施。昨年度は区内企業、今年度は大桐地域活動協議会と連携。

●東淀川区魅力発信プロジェクト（仮称）

- ・東淀川区の魅力を知ってもらうため、実行委員全員の企画発表。クイズ大会、歴史を使った魅力発信、B級グルメ、学校のグラスバンドを活かした音楽のまちフェスの開催等の提案が出ている。次回6月に実行するものを決めていく。

●異次元交流ライブ

- ・課題を持つ各地域と地域貢献に関心を持っている企業や団体、学生、地域が情報交換、意見交換できる場を設け、ウィンウィンの関係を目的に実施。交流が生まれてきている。

●We Love 東淀川

- ・横のつながり、ネットワーク作りが目的であり、地域づくりの入門編という位置づけ。
- ・テーマを絞っていないので気楽に参加していただいている。

（区民まつりについて）

- 昨年、当部会から 2 名、区民まつり企画委員会に入らせてもらい改善の提案をしたが、今のところ進捗が伝わってこない。どうしていくのか。
- 地域の高齢化等の問題もある。パレード参加しない決断をした地域も。何らかの改革が必要。30年度の変更では遅い。マンネリ化し参加率低下する危機感は多くの人を持っている。
- 予算や調整の少ない変更ならすぐできるのでは(クイズ大会など)。総踊りは残してほしい。
- 変えてほしい人・現状維持を望む人双方おり、じっくり話し合うことが必要。
- 運営方針に「区民まつりの実施」だけでなく「どうするか考えていく」の文言も必要では。

- ・区民まつりに新たな意見をいただきたいという趣旨で入っていただいたが、大きな転換は難しい。地域からの実行委員も皆さん意見が異なる。長いスパンで各地域と話し合って進めていきたい。また、1月頃の地域の予算編成に合わせないといけない。
- ・業者委託のまつりにすれば内容を変えられるが、地域主体のまつりであることで警察からこぶし通りの道路封鎖の許可がされている状況もある。一回やめると復活も難しい。

(地域活動協議会と新たな担い手について)

- 地活協単位だけでなくもっと細かくするものと大きく複数と一緒にするものとメリハリを。
- 運営方針の「自助・共助」「向こう三軒両隣」のためにコミュニティづくりの見直しが必要。
団体・企業と地域のニーズを結びつける深くつなげるような事業や事例共有をしてほしい。
- 地活協と連合の関係がうまくいかない地域もある。
- 地活協はお金や人がない。やはり町会の協力体制がないと活動できない。また町会に入らない人が増えたが歯抜けの町会では防災や防犯もできない。住民側も窓口がわからないので町会に入るきっかけづくりが必要。町会加入していないと情報が入りにくい。
- 町会は経費も少ない。町会費を取らない方が組織率が上がるのでは。

- ・「We Love 東淀川」「異次元交流ライブ」、また新たな「魅力発信プロジェクト」などを切り口にして徐々につながりや事例が広がっていくようにしたい。
- ・防災マップは地活協が全戸配布した。民生委員で災害時要配慮者のリストも今作成中。町会加入未加入は関係ない。
- ・地活協は予算決算を区役所で把握しているので活動内容がわかるが、任意団体の町会はわからない。